志教育全体計画

学 校 教 育 目 標

ふるさとを愛し夢に向かって
共にたくましく生き抜く児童の育成

めざす児童像

○思いやりの心を持ち，認め合い支え合い，共に伸びる子供
○よく見て，聴いて，考えて，進んで学ぶ子ども
○健康で，根気強くあきらめない子供

めざす学校像

○　楽しく学び，伸びゆく学校
○　心はぐくむ学校
○　信頼される学校

めざす教師像

○　児童を愛し，児童と共に学ぶ教師
○　教師としての自覚と使命感を持ち，専門職としての力量を高める教師
○　互いに敬愛し，協働する教師

児童の実態

○　明るく素直でやさしい。
○　何事もまじめに取り組む。
○　自己主張が弱い。

保護者の願い

○　基礎基本が身に付いている子供
○「よく学び，よく遊ぶ」子供
○　きちんと挨拶ができる子供
○　よりよいかかわり合いのできる子供

教師の願い

○　望ましいかかわり合いの中で，基礎・基本をしっかり身に付け自らの目標に向かって努力する児童を育てたい。

志教育の目標

○　よりよいかかわり合いを築きながら，自らの生き方を考え，夢や希望をもって学ぼうとする意欲や態度を育成する。
○　体験的な活動を通して社会の一員としての自覚を持たせる。

重　点　指　導　事　項

	人と『かかわる』	よりよい生き方を『もとめる』	社会での役割を『はたす』
低学年	◇　家族や友達等，身近な人々と接しながらあいさつや返事をし，自分の気持ちを伝えることができるようにさせる。 ＊　自分の思いをみんなの前で表現させる。 ＊　自分の好きなことや興味があることに気付かせる。	◇　自分の好きになことや興味を持ったことに進んで取り組ませる。 ＊　将来なりたいものへの夢を持たせる。 ＊　身の回りにあることに関心を持たせる。	◇　家庭での手伝いや学級の係活動・清掃活動等に関心をもって取り組ませる。 ＊　係や当番活動の仕事にしっかり取り組ませる。
中学年	◇　友達と協力する中で，互いのよさを認め合ったり，励まし合ったりすることができるようにさせる。 ＊　自分の考えや思いを分かりやすく表現させる。 ＊　自分の長所や短所に気付かせる。	◇　将来の夢や希望をもち，学習や体験活動に取り組ませる。 ＊　将来についての夢や目標を考えさせる。 ＊　課題に向かっていろいろな方法で調べさせる。	◇　係活動の必要性が分かり，自分の仕事に積極的に取り組ませる。 ＊　互いの仕事や役割を理解させながら責任を果たさせる。
高学年	◇　様々な集団の中で自己を生かすことができるようにさせる。 ＊　相手の考えを理解させ，自分の考えを適切に伝えさせる。 ＊　自己を肯定的にとらえさせ，自分の長所に気付かせる。	◇　夢や希望をもち，将来の生活や仕事について学習や体験活動を通して，考えさせる。 ＊　将来の夢や就きたい仕事について考えさせる。 ＊　課題に向かって主体的に解決するようにさせる。	◇　自己の役割や責任を果たすことで人のために役立つ喜びを体験させる。 ＊　自分の役割を果たさせ社会生活にも役割があることを理解させる。

各教育活動における取組の観点

各　教　科

○　主体的に学び，互いの意見を交流しながら，学び合う態度を育てる。
○　基礎・基本の定着と学ぶ意欲の向上を図る。
○　体験的・課題解決的学習の積極的な展開を行う。
○　学習したことについて，生活へ応用させる。

特別の教科：道徳

○　夢や希望をもち，自分の目標に向かって粘り強く努力しようとする態度を育てる。
○　基本的生活習慣を育成する。
○　思いやりの心の伸長，自他を尊重する態度を育てる。

総合的な学習の時間

○　様々な体験を通して，豊かな感性と表現力を育てる。
○　地域を取り巻く自然や暮らし，文化・歴史への興味・関心の喚起を図る。
○　課題発見能力や課題解決能力，追求力を育成する。
○　地域の人々との交流を図る。

特 別 活 動

○　心身の調和のとれた発達と個性の伸長を図る。
○　集団の一員としての自覚を高める。
○　協力的な態度の育成と自主的，実践的な行動の形成を図る。
○　自治的意識を形成する。

外国語活動・その他

○　外国語を通じて，積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成する
○　先人や偉人の生き方について触れさせる機会の設定を行う。
○　地域の行事に積極的に参加させ，地域の方々との交流を通して，地域社会とのかかわりを高めさせる。

家　庭　と　の　連　携

○　学校や学級からの「たより」や懇談会等の機会を通して，志教育の取組について理解を図る。
○　学校や学級，児童の実態や課題を共有し，保護者の理解と協力のもと，連携して基本的な生活習慣を身に付けさせる。

地　域　と　の　協　働

○　地域の人材や教材を活用した教育活動の展開を推進する。
○　地域の行事に積極的に参加することを促しながら体験活動の充実を図る。